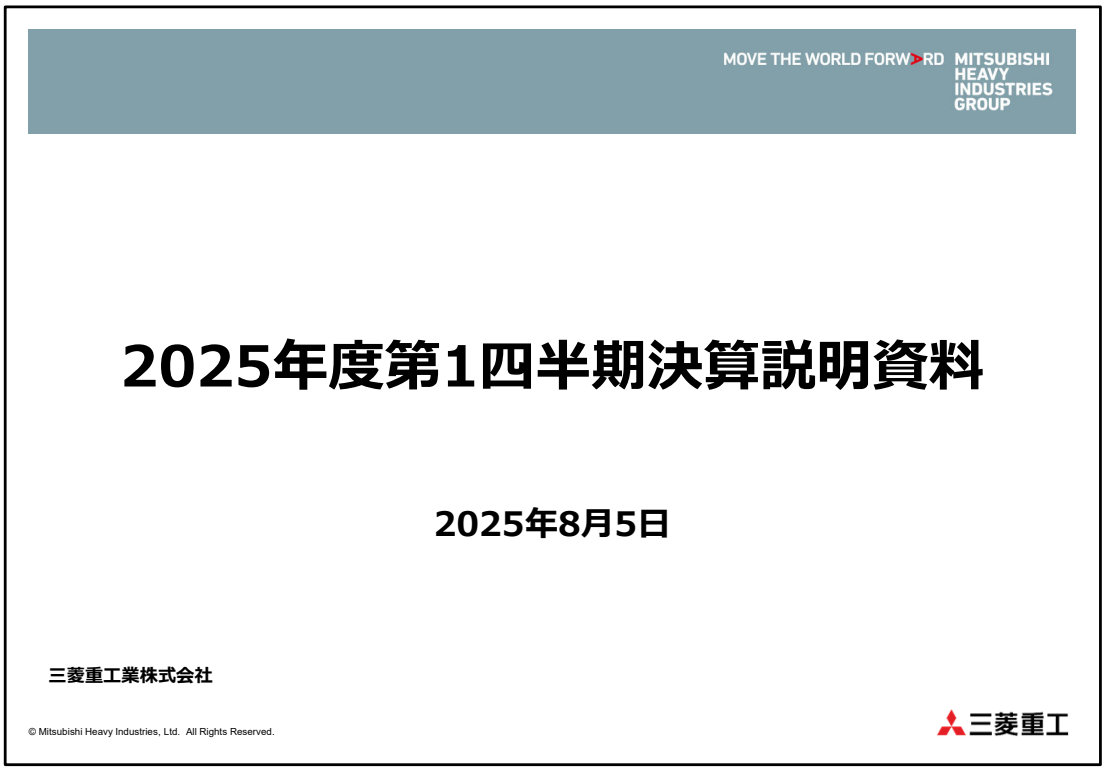


こんにちは。CFOの西尾です。
2025年度第1四半期決算実績、年間業績見通し、最後に米国関税について説明します。

目次

三菱重工

1．決算のポイント 3-5

2．2025年度第1四半期決算実績 6-14

- 連結経営成績サマリー
- 連結財政状態
- 事業利益増減分析
- セグメント情報

3．2025年度業績見通し 15-17

- 業績見通しサマリー
- セグメント情報

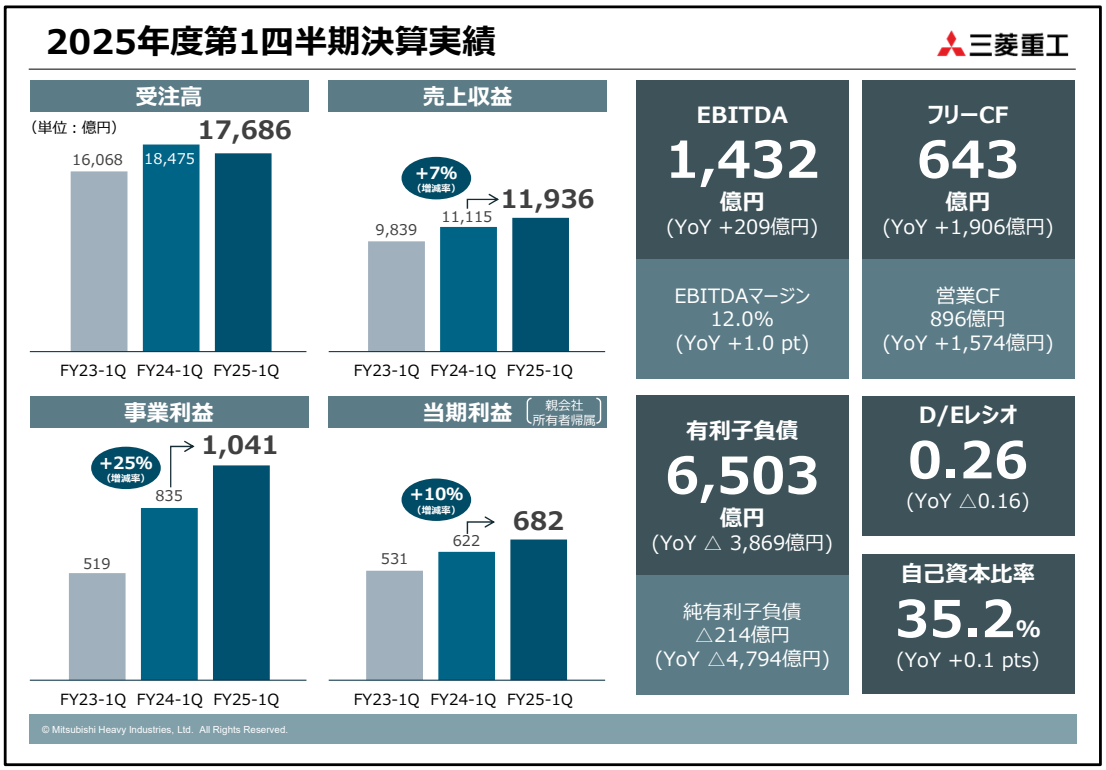
4．補足資料 18-22

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

資料の構成は、目次に記載のとおりです。

１．　決算のポイント

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.



実績値の全体概況について説明します。
このページでは、主要KPIについて記載しています。

受注高は1兆7,686億円となりました。前期比較では、エナジー、プラント・インフラが増加しています。前年同期に複数の大型案件を受注した航空・防衛・宇宙のリバウンドで全体の受注高も若干減少しましたが、引き続き高い水準を確保しています。

なお、このページには記載していませんが、受注残高は10兆7,729億円となり、前年度末から約5,000億円積み上がりました。

売上収益は、前年同期比7%増の1兆1,936億円となりました。第1四半期では過去最高を更新しています。

事業利益は、1,000億円の大台に乗りました。前年同期比25%増で、こちらも第1四半期としては過去最高です。

親会社の所有者に帰属する当期利益は、前年同期比10%増の682億円となりました。これは、事業利益の伸びに対して少ないですが、前期は円安が大きく進行した局面で為替差益を計上しており、その反動によるものです。
なお、当期利益も過去最高を更新しています。

2025年度第1四半期決算実績ハイライト

三菱重工

- **受注高：17,686億円**（前年同期比：△788億円、4%減）
  エナジー、プラント・インフラが増加。防衛・宇宙は、複数の大型案件を受注した前年同期と比べると減少したが、引き続き高水準の受注高を確保。
  受注残高は、前年度末から5,366億円増の10兆7,729億円となった

- **売上収益：11,936億円**（前年同期比：+820億円、7%増）
  エナジー、プラント・インフラ、航空・防衛・宇宙の3セグメントにおいて前年同期比増収。
  主な事業別では、GTCC、原子力、製鉄機械、防衛・宇宙が売上収益を伸ばした

- **事業利益：1,041億円**（前年同期比：+206億円、25%増）
  エナジー、プラント・インフラ、航空・防衛・宇宙の3セグメントにおいて前年同期比増益。
  売上増・利益率改善が寄与

- **当期利益：682億円**（前年同期比：+59億円、10%増）
  前年同期は円安局面で為替差益を計上。今期は円高進行にともないリバウンドが生じたものの、事業利益の増加により前年同期比増益

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

MOVE THE WORLD FORWARD MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP

2． 2025年度第1四半期決算実績

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページ以降、決算実績をもう少し詳細に記載しています。

連結経営成績サマリー

三菱重工

（単位：億円）	FY2024-1Q（利益率）	FY2025-1Q（利益率）	増減（利益率）	（増減率）
受注高	18,475	17,686	△788	(△4.3%)
売上収益	11,115	11,936	+820	(+7.4%)
事業利益	835 (7.5%)	1,041 (8.7%)	+206 (+1.2 pts)	(+24.7%)
親会社の所有者に帰属する当期利益	622 (5.6%)	682 (5.7%)	+59 (+0.1 pts)	(+9.5%)
EBITDA	1,223 (11.0%)	1,432 (12.0%)	+209 (+1.0 pt)	(+17.1%)
フリー・キャッシュ・フロー	△1,262	643	+1,906	
営業キャッシュ・フロー	△678	896	+1,574	
投資キャッシュ・フロー	△584	△253	+331	

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページの下段に、フリー・キャッシュ・フローを記載しています。

フリー・キャッシュ・フローは643億円、うち営業キャッシュ・フローが896億円の黒字となりました。GTCC事業を中心とした好調な受注を背景に、前受金が増加したことなどによるものです。

連結財政状態

三菱重工

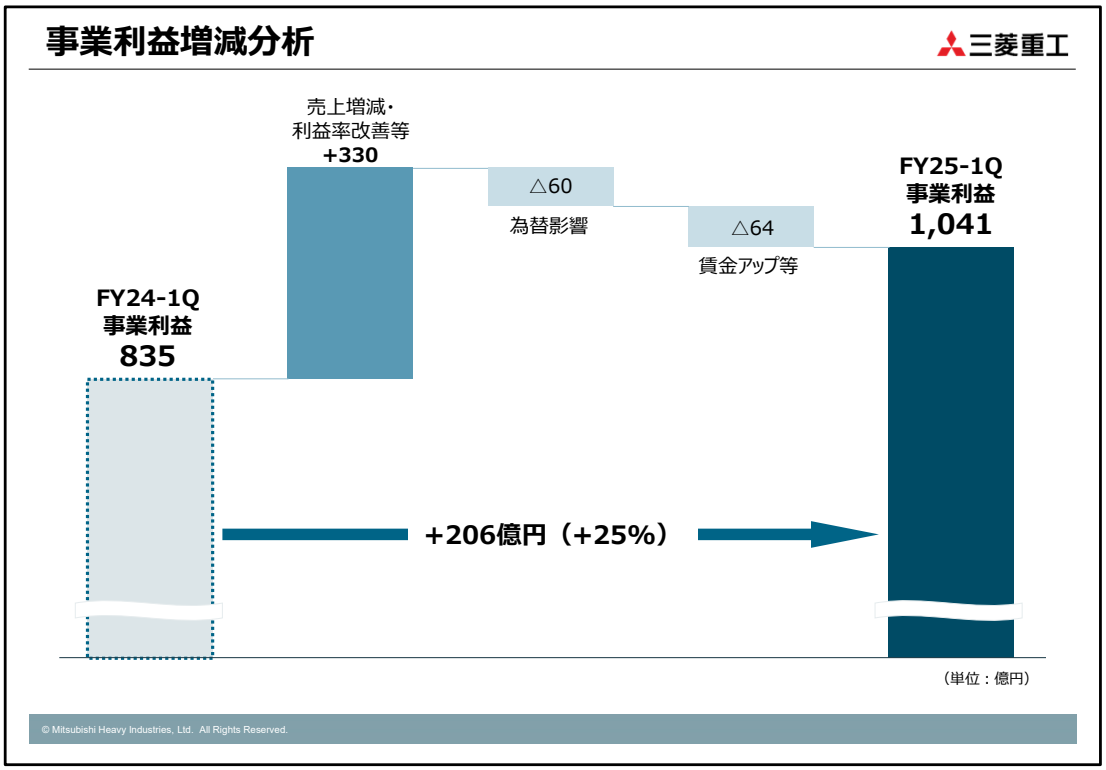
（単位：億円）	FY24末	FY25-1Q末	増減
売上債権（営業債権及び契約資産）	17,765	16,977	△788
棚卸資産	10,625	11,282	+657
その他流動資産	10,725	11,812	+1,086
（うち現金及び現金同等物）	(6,578)	(6,718)	(+140)
固定資産	11,953	11,830	△122
投資等	15,519	15,617	+97
資産合計	66,589	67,520	+931
営業債務	9,302	8,480	△822
契約負債	14,439	15,729	+1,289
その他	11,634	11,825	+190
有利子負債	6,513	6,503	△9
資本	24,698	24,981	+283
（うち親会社の所有者に帰属する持分）	(23,467)	(23,760)	(+293)
負債及び資本合計	66,589	67,520	+931

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページでは、バランスシートについて記載しています。

総資産は6兆7,520億円となり、昨年度末から931億円増加しました。GTCCや防衛などの事業規模の拡大局面で、資産サイドでは棚卸資産やその他流動資産（前渡金など）が増加しました。一方で、負債サイドでは前受金を多く獲得、契約負債を認識しているため、運転資本はこの四半期断面ではやや減少しています。

結果として、有利子負債残高は6,503億円で、前年度末と同水準です。資産サイドの現金及び現金同等物と差し引きしたネット有利子負債は、マイナス214億円となりました。



このページでは前年同期対比の事業利益のステップチャートを示しています。

売上増・利益率改善等により、330億円好転しています。内容はエナジー、プラント・インフラ、防衛・航空・宇宙セグメント、それぞれおおむね100億円ずつほど前年同期比で好転しています。

為替影響としてマイナス60億円と記載していますが、売上平均レートが前年同期が1ドル153円、当期が146円でしたので、この影響によるものです。なお、前年同期、当期ともに一時費用は計上していないため、このステップチャート上はフラットです。

事業セグメント別の動きは、次のページ以降で説明します。

決算実績　セグメント別内訳

三菱重工

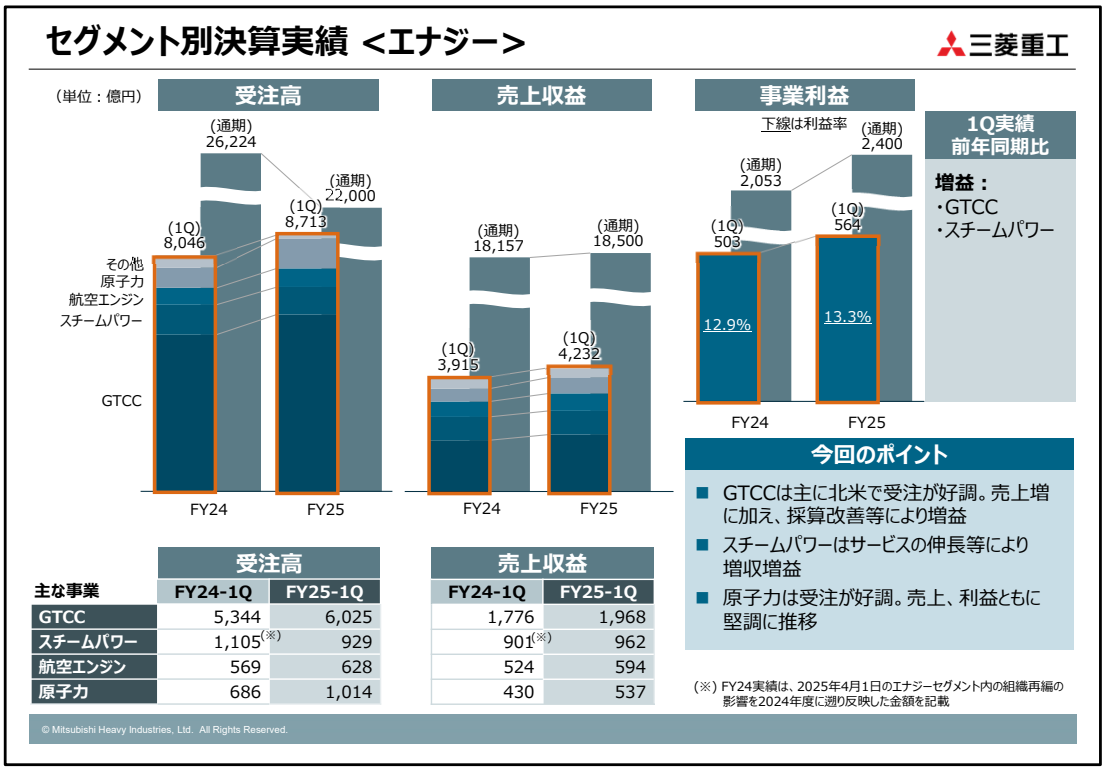
（単位：億円）

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY24 1Q	FY25 1Q	増減	FY24 1Q	FY25 1Q	増減	FY24 1Q	FY25 1Q	増減
エナジー	8,046	8,713	+667	3,915	4,232	+317	503	564	+60
プラント・インフラ	2,284	2,395	+111	1,751	2,079	+328	76	185	+109
物流・冷熱・ドライブシステム	3,296	3,041	△254	3,209	2,992	△216	146	109	△37
航空・防衛・宇宙	4,760	3,508	△1,252	2,117	2,605	+488	236	288	+51
その他及び全社又は消去	87	27	△60	122	26	△95	△128	△105	+22
合計	18,475	17,686	△788	11,115	11,936	+820	835	1,041	+206

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページには、セグメント別の受注高、売上収益、事業利益をまとめて記載しています。

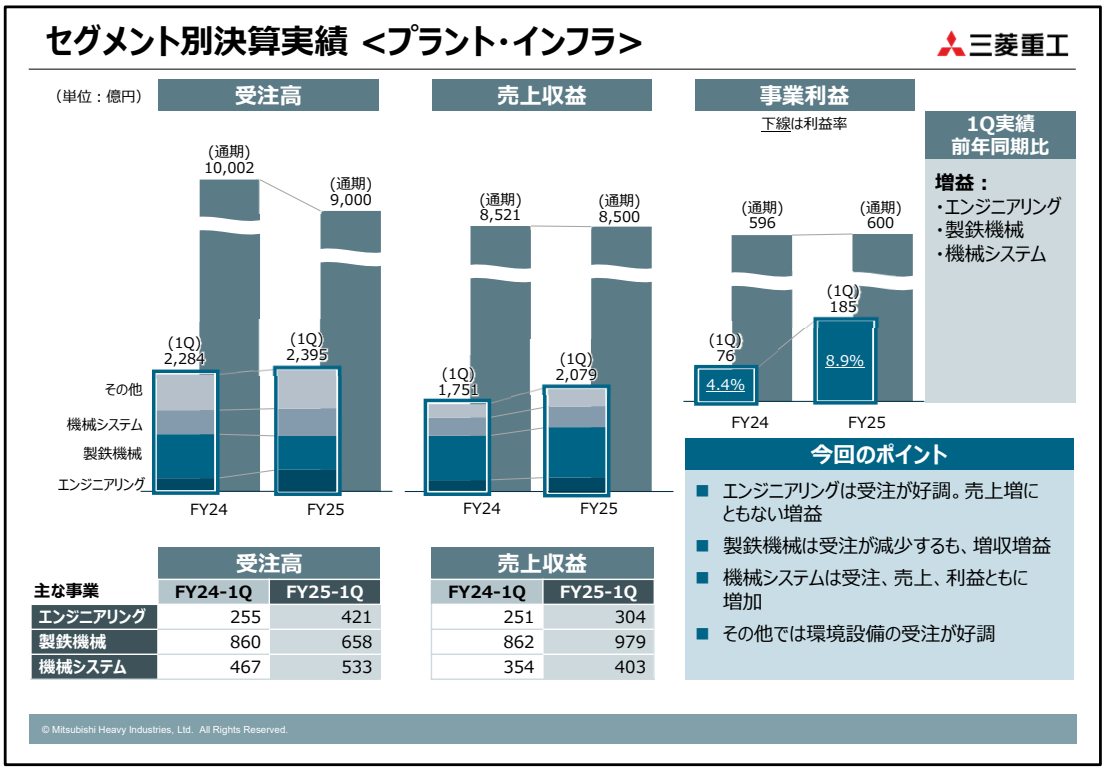
次のページ以降で、セグメント別に説明します。



主な事業	受注高 FY24-1Q	受注高 FY25-1Q	売上収益 FY24-1Q	売上収益 FY25-1Q
GTCC	5,344	6,025	1,776	1,968
スチームパワー	1,105(※)	929	901(※)	962
航空エンジン	569	628	524	594
原子力	686	1,014	430	537

エナジーセグメントは、受注高、売上収益、事業利益とも前年同期比増、年間見通しに対する進捗率も順調です。

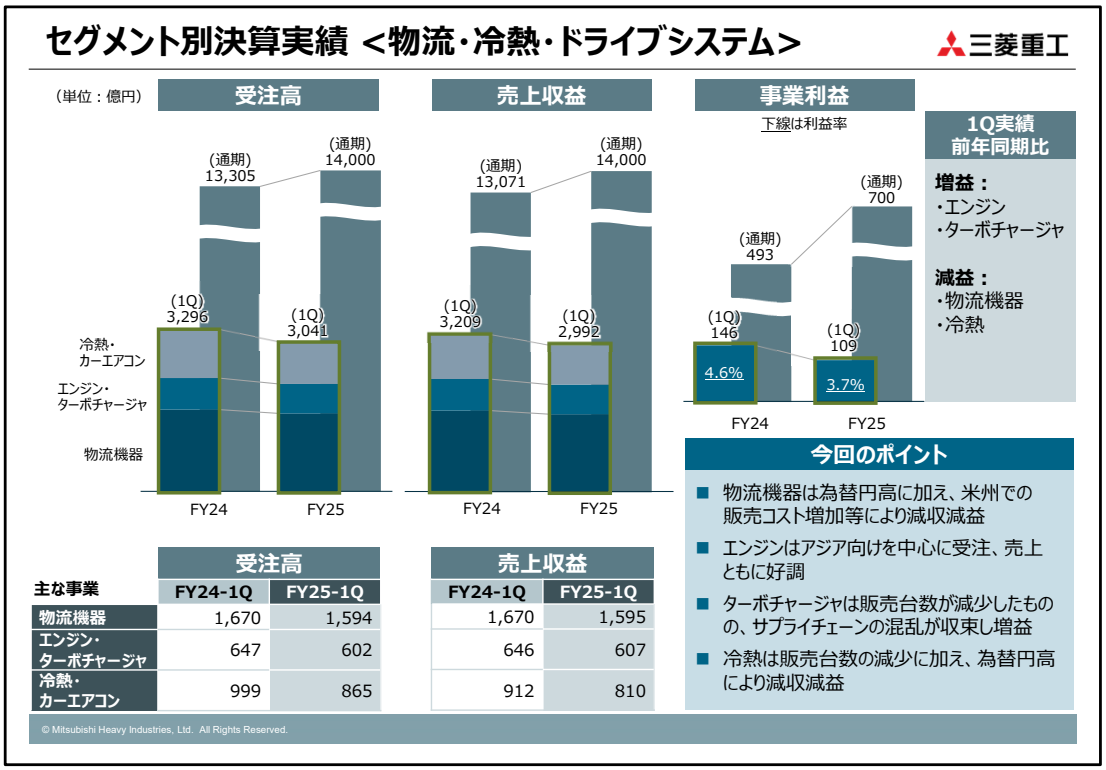
GTCCは北米での受注が好調です。スチームパワーも増収増益、原子力は受注が好調で売上、利益ともに堅調に推移しています。



主な事業	受注高		売上収益	
	FY24-1Q	FY25-1Q	FY24-1Q	FY25-1Q
エンジニアリング	255	421	251	304
製鉄機械	860	658	862	979
機械システム	467	533	354	403

プラント・インフラも、受注高、売上収益、事業利益とも前年同期比増加し、年間見通しに対する進捗率も順調です。

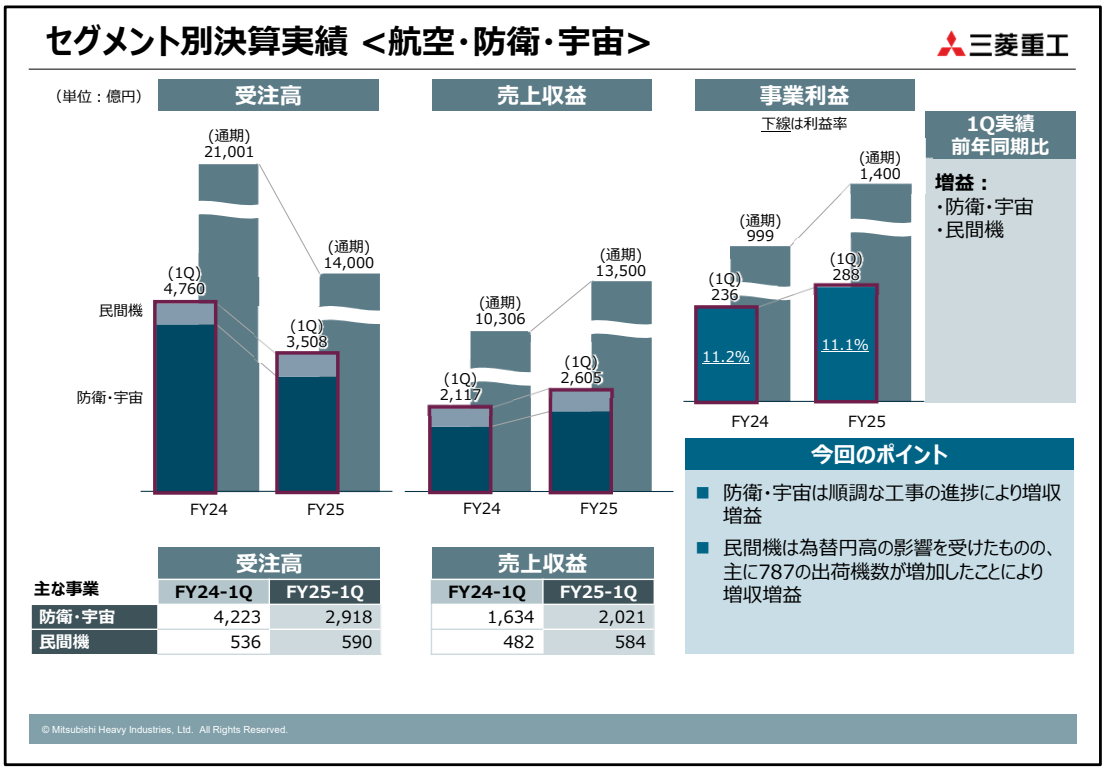
エンジニアリングは新交通システムの老朽更新工事などの受注で好調です。製鉄機械は受注が減少するも、売上、利益とも増加。機械システムは受注、売上、利益とも増加しています。



主な事業	受注高		売上収益	
	FY24-1Q	FY25-1Q	FY24-1Q	FY25-1Q
物流機器	1,670	1,594	1,670	1,595
エンジン・ターボチャージャ	647	602	646	607
冷熱・カーエアコン	999	865	912	810

物流・冷熱・ドライブシステムは、残念ながら受注高、売上収益、事業利益とも前年同期を下回りました。

その中で、エンジン事業はアジア向けを中心に受注、売上とも好調です。



航空・防衛・宇宙は冒頭説明したとおり、防衛の受注高が前年同期の複数大型案件のリバウンドにより下がっていますが、売上レベルを上回る高水準を維持しています。また、手持ち工事の順調な進捗により、増収増益となっています。

民間機は為替円高の影響を受けたものの、ボーイング787の出荷機数の増加等により増収増益です。

以上、第1四半期決算実績は全体として、当年度公表値（年間の目標値）に向けて順調な滑り出し、24事計の達成に向け、おおむねオントラックと評価しています。特に受注は想定よりも強含みです。

なお、米国関税影響については後ほど説明しますが、この第1四半期決算値では関税負担の直接的損益影響は僅少で、全社で数億円レベルでした。

続きまして、年間の業績見通しについて説明します。

業績見通しサマリー

三菱重工

前回公表（2025年5月9日）から変更なし

（単位：億円）	2024年度（利益率）	2025年度（利益率）	増減（利益率）	（増減率）
受注高	70,712	**59,000**	△11,712	(△16.6%)
売上収益	50,271	**54,000**	+3,728	(+7.4%)
事業利益	3,831 (7.6%)	**4,200 (7.8%)**	+368 (+0.2 pts)	(+9.6%)
親会社の所有者に帰属する当期利益	2,454 (4.9%)	**2,600 (4.8%)**	+145 (△0.1 pts)	(+5.9%)
ROE	10.7%	**11%**	+0.3 pts	
EBITDA	5,413 (10.8%)	**5,800 (10.7%)**	+386 (△0.1 pts)	(+7.1%)
フリー・キャッシュ・フロー	3,427	**△2,000**	△5,427	
配当	23円 中間11円/期末12円	**24円 中間12円/期末12円**	前提為替レート：1ドル＝145円、1ユーロ＝155円	

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

このページに記載の数値は、5月公表のものから変更ありません。
前提為替レートも、1ドル145円のままとしています。なお、為替のエクスポージャーは事業利益ベースで23億ドルです。

業績見通し　セグメント別内訳

三菱重工

前回公表（2025年5月9日）から変更なし

（単位：億円）

	受注高			売上収益			事業利益		
	FY24 実績	FY25 見通し	増減	FY24 実績	FY25 見通し	増減	FY24 実績	FY25 見通し	増減
エナジー	26,224	**22,000**	△4,224	18,157	**18,500**	+342	2,053	**2,400**	+346
プラント・インフラ	10,002	**9,000**	△1,002	8,521	**8,500**	△21	596	**600**	+3
物流・冷熱・ドライブシステム	13,305	**14,000**	+694	13,071	**14,000**	+928	493	**700**	+206
航空・防衛・宇宙	21,001	**14,000**	△7,001	10,306	**13,500**	+3,193	999	**1,400**	+400
その他及び全社又は消去	179	**0**	△179	215	**△500**	△715	△310	**△900**	△589
合計	70,712	**59,000**	△11,712	50,271	**54,000**	+3,728	3,831	**4,200**	+368

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別内訳も、5月の公表値から変更ありません。
エナジーの事業利益2,400億円には、一時費用のリスクバッファー200億円を含んでいます。

最後に、米国関税についてお話をします。スライド15ページをご覧ください。

このページの一番下の下線部に記載していますが、顧客への価格転嫁を中心とした対策に取り組んでいること、そもそも関税対象取引が大きくないことから、現時点では当社業績にもたらす影響は限定的と考えています。この文脈で、当社グループの米国事業について簡単にご紹介します。末尾の22ページをご覧ください。

４．　補足資料

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

補足資料　参考データ

三菱重工

大型ガスタービン 受注台数･契約残台数

	FY24-1Q	FY24通期	FY25-1Q
米州	4	11	6
アジア	2	5	2
EMEA	-	9	-
その他	-	-	-
受注台数 合計	6	25	8
契約残台数	38	48	53

【参考】中国の協業先企業における受注台数

	FY24-1Q	FY24通期	FY25-1Q
受注台数	-	7	3

民間航空機 出荷機数

777	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY24	6	6	2	5	19
FY25	6				6

777X	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY24	3	3	1	0	7
FY25	0				0

787	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
FY24	9	12	12	12	45
FY25	18				18

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

補足資料　参考データ

三菱重工

受注残高

（単位：億円）	FY24-4Q	FY25-1Q
エナジー	49,184	53,013
プラント・インフラ	17,053	17,641
物流・冷熱・ドライブシステム	793	660
航空・防衛・宇宙	35,145	36,205
その他及び全社又は消去	185	207
合計	102,362	107,729

未確定外貨

（億通貨単位）	USD	EUR
未確定外貨（事業利益）	23	3
未確定外貨（金融収益費用）	13	0
前提為替レート	145.0	155.0

研究開発費、減価償却費、設備投資

（単位：億円）	FY24-1Q	FY25-1Q	FY25見通し
研究開発費	414	476	3,300
減価償却費	388	390	1,600
設備投資	450	361	2,000

販売費及び一般管理費

（単位：億円）	FY24-1Q	FY25-1Q
販管費	1,750	1,762

為替レート（売上計上平均レート）

	FY24-1Q	FY25-1Q
USドル（円/USドル）	152.5	145.8
ユーロ（円/ユーロ）	166.1	162.3

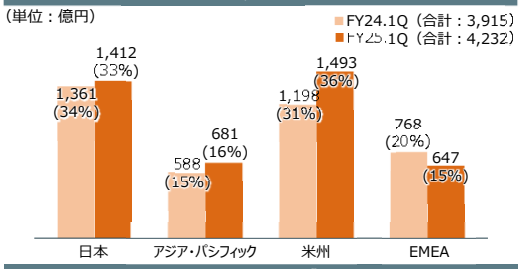
© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.

補足資料　参考データ

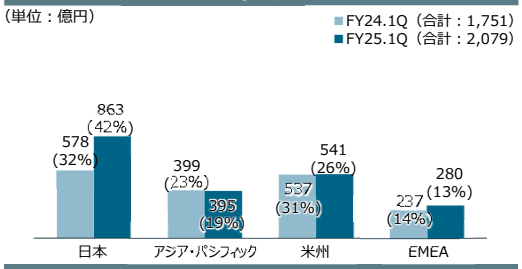
三菱重工

地域別売上高

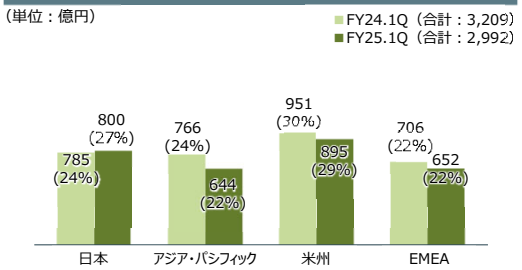
エナジー



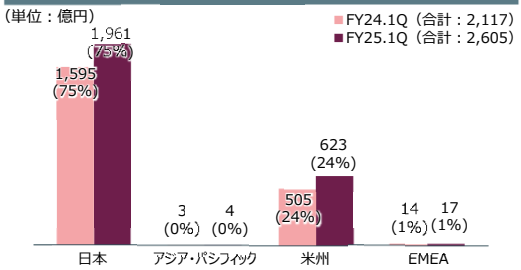
プラント・インフラ



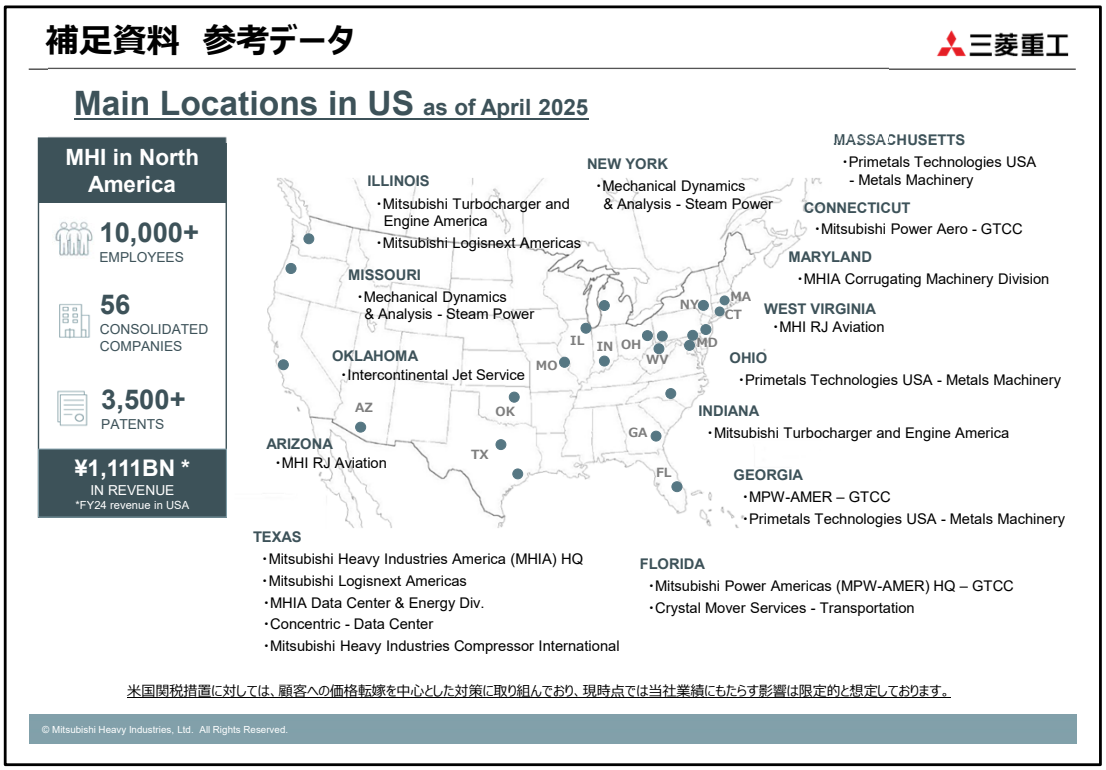
物流・冷熱・ドライブシステム



航空・防衛・宇宙



© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd. All Rights Reserved.



当社グループの米国事業ですが、ボリューム感として、前年度の売上高は1.1兆円でした。これには、日本から米国のお客様へ直接輸出する取引と、米国内での取引があります。

直接輸出取引は、大きなところで民間航空機のTier1や航空エンジンなどです。これらの取引の関税は、基本的にお客様負担です。

その他の取引が、米国内のものになります。当社グループはこの地図に記載のとおり、GTCC、フォークリフト、民間航空機、コンプレッサ、新交通システム、製鉄機械、紙工機械などの製造およびサービス拠点を現地に有しており、当社の関税負担となる取引ボリュームは大きくありません。

ただし、GTCCおよびフォークリフトなどの一部パーツを、現地拠点が輸入しています。これにかかる関税は、一旦当社グループのコストとして負担をすることになるわけですが、基本的には顧客への価格転嫁を図ることで、相当程度損益への影響を抑制できるものと考えています。

私からの説明は以上です。

MOVE THE WORLD FORWARD MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES GROUP

三菱重工